

平成23年7月11日



各 位

会 社 名 株式会社 ノダ  
 代表者名 代表取締役社長 野田 章三  
 (コード番号 7879 東証第2部)  
 問合せ先 常務取締役業務部長 本部 聡定  
 (TEL. 03-5687-6222)

## 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、前回発表(平成23年1月19日発表)した平成23年11月期(平成22年12月1日～平成23年11月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、本年3月に発生した東日本大震災の影響により、平成23年11月期において特別損失の計上を予定しておりますので、あわせてお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

## ①平成23年11月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成23年1月19日発表)	22,800	600	500	440	27.94
今回修正予想(B)	23,818	1,384	1,423	282	18.26
増減額(B) - (A)	1,018	784	923	△158	
増減率(%)	4.5	130.7	184.6	△35.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年11月期第2四半期)	21,845	391	436	414	25.99

## ②平成23年11月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成23年1月19日発表)	17,100	330	270	250	15.87
今回修正予想(B)	18,464	648	607	560	36.32
増減額(B) - (A)	1,364	318	337	310	
増減率(%)	8.0	96.4	124.8	124.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年11月期第2四半期)	16,076	256	191	197	12.41

## ③平成23年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成23年1月19日発表)	47,400	1,380	1,200	1,060	67.30
今回修正予想(B)	46,900	2,050	2,030	800	52.99
増減額(B) - (A)	△500	670	830	△260	
増減率(%)	△1.1	48.6	69.2	△24.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	46,218	1,205	1,237	1,438	90.63

## ④平成23年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成23年1月19日発表)	35,700	770	650	610	38.73
今回修正予想(B)	37,000	1,060	950	910	60.28
増減額(B) - (A)	1,300	290	300	300	
増減率(%)	3.6	37.7	46.2	49.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	33,998	618	516	669	42.16

## ⑤業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間（平成22年12月～平成23年5月）は、国内の住宅着工が緩やかな回復基調となるなか、当グループは収益力の向上をはかるため引き続き生活提案商品や環境配慮型商品を中心とする営業展開を推進し、高付加価値製品の拡販に取り組むとともに、コスト削減による競争力の強化、マーケットの新規開拓等によりシェアの確保に努めてまいりました。

このうち第1四半期（平成22年12月～平成23年2月）においては、新興国の経済成長を背景に、建材製品の原材料である輸入合板の引き合いが強く産地価格が上昇傾向となるなか、住宅着工が回復基調となり、建築資材の先高感から建材製品や合板類等の売上高が堅調に推移しました。

一方、第2四半期（平成23年3月～5月）は、本年3月に発生した東日本大震災により東北地方の合板及び建材関連の多くの工場が被災し物流も混乱するなか、建築資材全般で供給不足となり、当グループの建材製品や構造用MDF、合板類等の販売が伸びたしました。また、連結子会社石巻合板工業株式会社（宮城県石巻市）は、東日本大震災や津波の影響により本社及び工場が被災し、国産針葉樹合板の生産を停止いたしました。また、震災以前から同社が取り扱っていたマレーシアの合弁会社（サンヤン社）の輸入南洋材合板の販売に注力いたしました。

これらの結果、上記の通り当第2四半期累計期間の業績は売上高、営業利益、経常利益とも、前回発表予想（平成23年1月19日発表）を上回る見通しとなりましたが、次項「2. 特別損失の計上」に記載の通り、連結子会社石巻合板工業が東日本大震災により被災し、災害関連損失を計上したことなどから、連結ベースの四半期純利益については当初予想を下回る見込みとなりました。

なお、平成23年11月期の通期業績予想につきましては、連結・個別とも第2四半期までの業績見直し内容等を踏まえ、前回発表予想（平成23年1月19日発表）を修正するものであります。

## 2. 特別損失の計上

本年3月に発生した東日本大震災並びに津波の影響により連結子会社石巻合板工業の本社及び工場が被災し、たな卸資産、建物及び機械装置等に損害が発生いたしました。これら連結子会社の損害から地震保険契約求償額及び合板事業復旧に係る政府補助金、並びに雇用調整助成金受給額の概算額等を控除し、災害関連損失として特別損失11億78百万円を平成23年11月期第2四半期に計上する予定です。

以上

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。